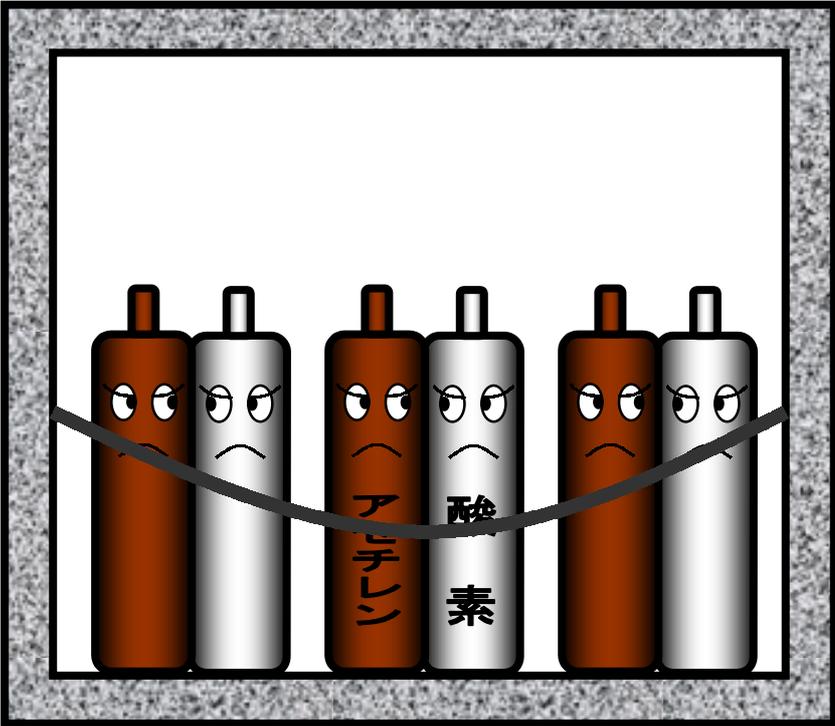


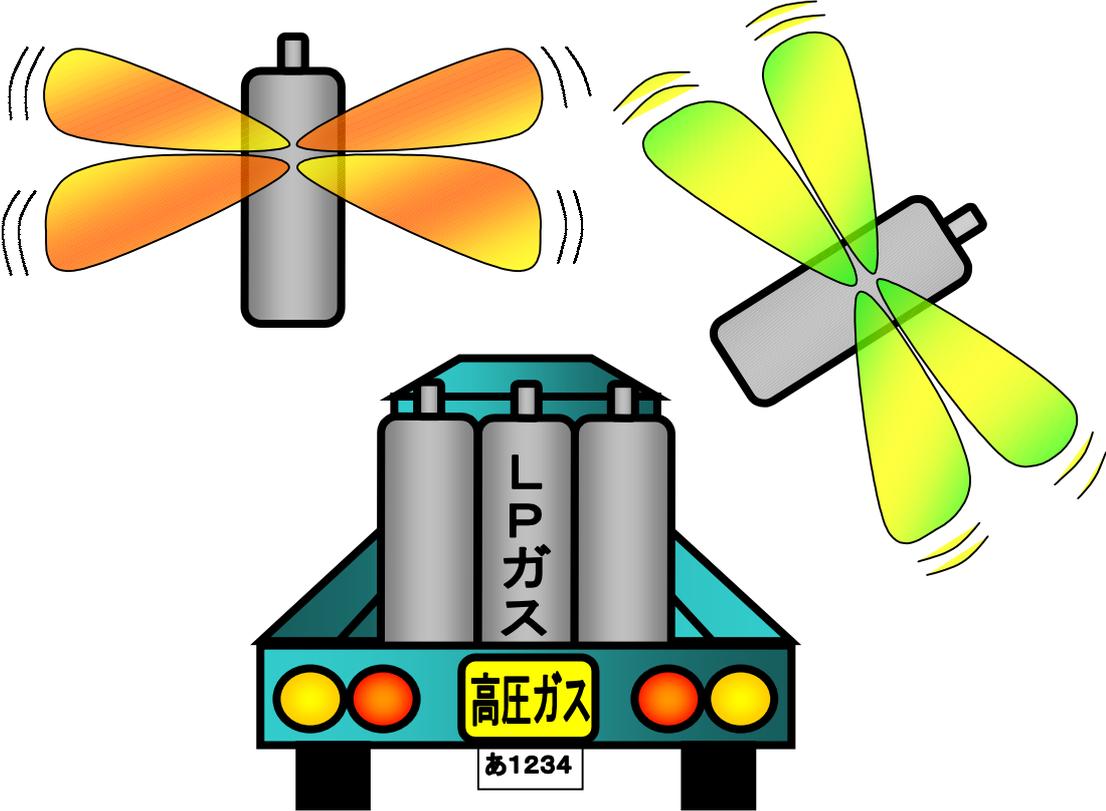
【事例 - 4 1】 高圧ガス販売所のヒヤリハット（1）

内 容	路上に放置した容器の転倒
状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期間、かつ、少量であり、容器置場に運ぶことが面倒であったので、液化石油ガスの充てん容器を店の前の路上に保管しておいた。2日後に帰宅したところ、容器のうちの1本が倒れていた。</li> </ul>
想 定 さ れ る 事 故	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道を通行する人の負傷、車両の衝突事故</li> <li>・ いたずら、たばこの投げ捨てなどによる引火、爆発</li> <li>・ 直射日光による温度上昇に伴う容器の安全弁の作動、変形、破裂</li> </ul>
概略図	
対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期間、かつ、少量であっても、充てん容器や残ガス容器は、必ず容器置場に保管する。</li> </ul>

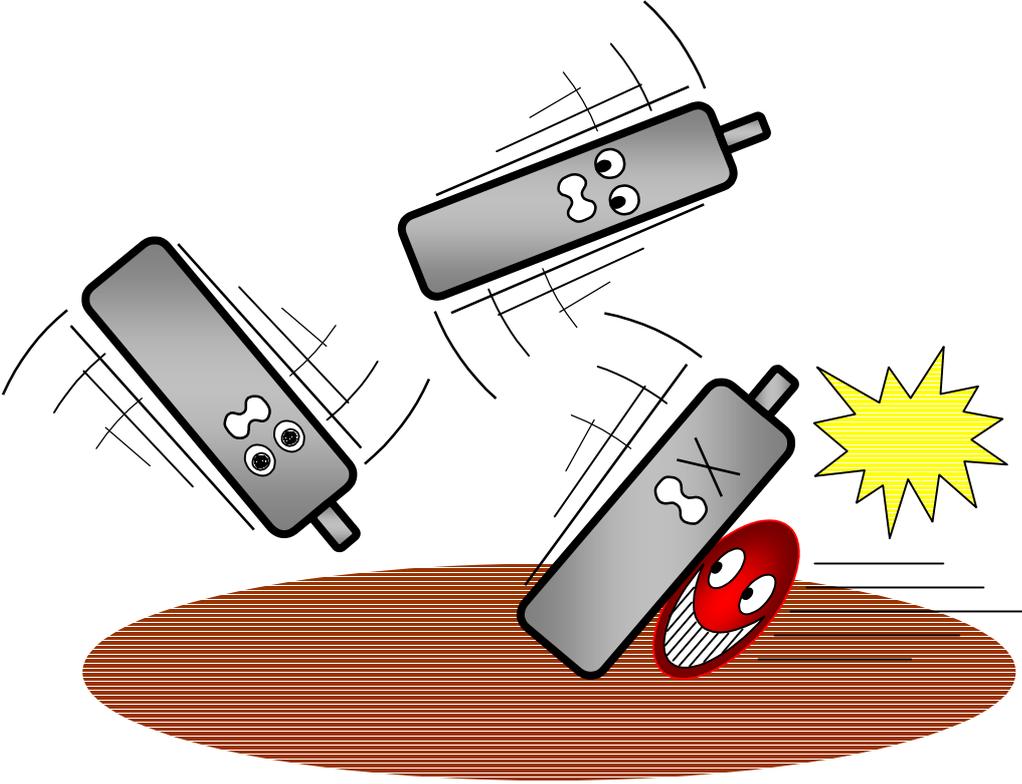
【事例 - 4 2】 高圧ガス販売所のヒヤリハット(2)

<p>内 容</p>	<p>不適正な容器の保管</p>
<p>状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセチレンガスと酸素の充てん容器は一緒に使用するので、それぞれ1本ずつを組にして容器置場に保管しておいた。</li> </ul>
<p>想 定 される 事 故</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃性ガスのアセチレンと支燃性ガスの酸素を区分しないで容器置場に保管することは、高圧ガスの漏えいや容器の破裂などの事故の被害をより拡大させる可能性が高い。</li> </ul>
<p>概略図</p>	
<p>対 策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃性ガス、毒性ガス及び酸素の充てん容器は、それぞれ区分して容器置場に置く。</li> <li>・充てん容器及び残ガス容器は、それぞれ区分して容器置場に置く。</li> </ul>

【事例 - 43】 高压ガス販売所のヒヤリハット(3)

<p>内 容</p>	<p>車両上の容器の一時保管</p>
<p>状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休み明けに配送する予定であり、容器置場に運ぶことが面倒であったので、液化石油ガスの充てん容器を車両に積載したままにしておいた。</li> </ul>
<p>想 定 さ れ る 事 故</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん容器の盗難</li> <li>・ 直射日光による温度の上昇に伴う高压ガスの漏えいや容器の破裂</li> <li>・ 車両の事故に伴う高压ガスの漏えいや容器の破損</li> </ul>
<p>概略図</p>	
<p>対 策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん容器と残ガス容器は、それぞれ区分して容器置場に置く。</li> <li>・ 作業手順の徹底</li> </ul>

【事例 - 44】 高圧ガス販売所のヒヤリハット(4)

内 容	不完全な保管による容器の転倒
状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器置場の隅においた窒素の充てん容器を取り出そうとしたとき、誤って他の充てん容器を倒してしまった。</li> </ul>
想 定 される 事 故	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん容器のバルブの破損</li> <li>・ 充てん容器からの高圧ガスの漏えい</li> </ul>
概略図	
対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てん容器を容器置場に保管するときは、容器をロープで縛りバルブにキャップをするなど、転落、転倒等による衝撃やバルブの損傷を防止する措置を講じる。</li> </ul>